

| 2024年度 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 防災部会 事務局会議録 |   |
|------------------------------------|---|
| 日時                                 | 2024年7月10日(水) 16:00-17:30   |
| 開催場所                               | 地域活動ホーム ゆめ ボランティアコーナー   |
| 出席者                                | (ときわ虹の会)菅田氏 (いわまワークス)戸村氏 (夢21)遠藤氏 (区役所)市川氏<br>(希望の家)島田氏・早坂氏 (基幹相談)吉田氏・朝倉  |
| 欠席者                                | (区社協)本橋氏  |
| 開催形態                               | 公開(傍聴人: 名)・ <b>非公開</b>  |
| 議 事                                | <p>① 被災地障害者センター横浜ほどがやの始動(開設)・運営マニュアル(案)の読み合わせ<br/>検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局内で協議して始動の判断を行うこととしているが、まずは自事業所の対応に追われることが想定される。すぐにセンター開設に移ることが出来るか。</li> <li>事務局メンバーの連絡手段の確保(LINEグループが現実的?)</li> <li>センター設置場所: 候補地は①ゆめ ②いわまワークス ③希望の家 となっているが確約されているものではない。建物が災害に耐えられるかという問題もある。</li> <li>SOS チラシなどに掲載するセンターの連絡先をどうするか(過去の災害では各キャリアから活動用携帯の貸与あり。区や社協へ連絡がある?)</li> <li>車両の貸し出しが得られるか。</li> <li>センターと行政の連絡調整について(高齢・障害支援課とはすぐに繋がらない可能性が高い)</li> </ul> <p>マニュアル改訂箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内事業所の連絡先を掲載</li> <li>「被災地障害者センター」の説明を自立支援協議会 HP の内容をあわせて掲載</li> <li>“センター始動” → “センター開設” へ表記を変更。</li> </ul> <p>② 能登半島地震の被災地ボランティア活動について報告(島田氏より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>七尾市にセンターが設置され、輪島市や珠洲市など被害が大きかった地域への派遣となった。</li> <li>現地はまだ更地化も進んでいない状況。道路状況などが大きく影響し、復興に時間を要している。</li> <li>今回の災害を機に、もともと支援が必要だったと思われる方があぶりだされた可能性もある。(いわゆるゴミ屋敷に住んでいた方)</li> <li>AAR Japan(認定NPO法人 難民を助ける会)も現地入りしており迅速な支援にあたっていた。</li> <li>山や坂が多い保土ヶ谷区との共通点も多く、実際の被害を想定した動きが必要だと再認識させられた。</li> </ul> <p>次回事務局: 8/21(水)16:00~ 地域活動ホームゆめ ボランティアコーナーにて<br/>※9月のセンター開設訓練にむけた具体的な動きについて確認予定</p> |